

実施主体：くらしのサポートセンター「かもめ」（大分県国東市竹田津地区）

人口	1,024人（竹田津地区のみ）／2016（H28）年4月
交通弱者向け交通状況	コミュニティバス、バス利用券交付、精神障がい者交通費助成
道路運送法上の類型	登録不要（サロン等への送迎（自家輸送））
しくみとサービス内容	実施主体は、住民の有志による「くらしのサポートセンター（旧：くらしを考える会）」。「移動支援の内容は、マイカーボランティア（無償）によるカフェへの送迎（サロン送迎）と、そこからの買い物等移動支援（無料）となっている。
実施開始時期	2016（H28）年12月
特徴	・地域で支え合う体制づくりが必要という意識の共有から始めて、わずか一年で、住民発意・住民主体の居場所づくりや移動支援を実現した。地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が動き始めた当初は、拒否反応や行政不信もあったが、推進員の熱意と、小学校区単位で、繰り返し学び必要性を実感したこと、スピード感を大切にすることで、多くの住民が地域の将来像を具体的に描くことができた。新しい総合事業の活用はまだないものの、立ち上げまでに、県や民間団体の助成金など6本を申請し、交付を受けた。
キーワード： ★ゼロからの体制づくりとサービス創出 ★生活支援コーディネーターの熱意とスピード感	
関係資料	竹田津暮らしのサポートセンター「かもめ」これまでの歩み 国東市一般介護予防事業補助金交付要綱



くらしボ「かもめ」カフェ&食事会 4月号
 場所：竹田津地区公民館 【かもめ専用電話】 0970-2406-6141

カフェ：誰でも自由に利用できます
 コーヒー・お茶（菓子付）100円
 開所：第1,2,3,4週 火・水・木曜日 13:00~15:00

食事会：事前予約で利用できます
 昼食代 400円 ※希望者は送迎あり！
 開所：第2,4週 水曜日 10:00~13:00

月	火	水	木	金
3	カフェ	カフェ	カフェ	休み
10	カフェ	カフェ	食事会	休み
17	カフェ	カフェ	カフェ	休み
24	カフェ	カフェ	食事会	休み

※4月からカフェ営業日が増え、これからも多くの方のご利用お待ちしております。

活力ある竹田津地区の
くらしを考える勉強会

なぜ、今あらためて勉強会が必要なのか
 竹田津での「支え合いの仕組みづくり」って何？
 これからのあなたの生活にきっと役に立ちます。

2016年
5月12日（木）から開講

会場：竹田津地区公民館
 （旧）竹田津改善センター
 ※詳しい内容は裏面参照

誰でも無料で自由に参加できます。
 （※講座料は、整理券をいただきますので、材料代100円がかかります。）

『勉強会の講師は、大分大学元副学長も来てくれます。他にも遠方（佐賀県や岡山県）からみなさんのためだけにきてくれます。ご期待を！！』

あなたのこれからの地域での生活、必ず変わります。

- ▶ これからも地域で安心して暮らしたい！
- ▶ 助け合いを地域に根付かせたい！
- ▶ 能力を活かして地域貢献したい！
- ▶ 自分の地域を元気にしたい！

主催 活力ある竹田津地区の暮らしを考える会
 【問い合わせ先】 国東市社会福祉協議会福祉支援課
 TEL: 0978-74-0333

国東市続き

①年月	②実施事項	③内容と結果
2016年1月	地域説明	地域と行政、社協による地域づくりのきっかけとなった。
3月	先進地視察、生活支援講演会開催	地域住民による支え合いのしくみづくりを学んだ。講演会には地区内人口の1割が参加。
4月	地域支え合い推進員を公民館に配置	行政や社協の本気度が住民に伝わった。
	くらしを考える会設立	上記参加者有志7人で発足。勉強会の内容検討、参加チラシ作成・配布、声かけ等を担当
5月～6月	地域勉強会（計7回）	「考える会」で実施（計15時間）テーマは支え合い・居場所・移動支援・食事
7月～9月	全戸訪問ニーズ調査	考える会メンバーや協力者による全戸聞き取り訪問。1世帯約1時間。困りごととできることの両方を尋ねる内容。 <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; display: inline-block; color: purple;">両方の結果を重ねあわせて、居場所づくりにたどりついた</div>
8月	実践NPO視察	福祉の拠点的な活動を展開している県内のNPO法人を視察し、法人化検討、自主財源の確保策、拠点整備費用の助成金等を調べた
9月～10月	活動計画作成	居場所の内容を具体化
10月	居場所の視察	佐賀県の居場所の先進地視察
11月	模擬実施（2回）	模擬実施は送迎・体操等レク・食事
11月	安全運転者講習	運転ボランティア候補（ニーズ調査）に声をかけて開催
1月	カフェオープン（毎月6回）	居場所への送迎に加え、月2回は居場所からの外出支援を実施（総合事業の活用は無し）
2017年3月	カフェ開催日数増加（月12回へ）	考える会のメンバー増加中（37人）。「活動を通じ自分たちの意識がかわった」という声も。